



愛知県刈谷市 井ヶ谷町内会 体育部

1 井ヶ谷町内会体育部について

2 学んだこと、伝えたいメッセージ

3 プランの概要とコロナ禍での実践

4 実践活動の成果と今後の課題

団体紹介 IGAYA KEY WORDS

150日/年の活動 昼間人口+**5000**人(最大数) **第40**回記念大会





教員養成大学の学生を育てる
防災教育年間プログラムの開発
一町内防災運動会をとおした「地域発」の学び

愛知県刈谷市 井ヶ谷町内会 体育部

実践事例を通じて学んだこと・伝えたいメッセージ

本実践は「**地域発**」で学生を育てるという、学校発の多くの事例と逆向きの取り組みです。そこに防災教育こそその、面白さと価値があります。地域にある**潜在的な「教育の力」**を地域の防災に発揮する姿を、実践を通じて伝えたいと思います。

1



2



教師をめざす大学生への願い・・・
防災教育の指導者としての知識・技能を身につけ、将来赴任した場所で積極的に活動できるように、今から**地域という財産**にふれてほしい。

チャレンジプランは1年だけの実践に終わらないこれからもずっと続く**活動の始まり**でした。その意味で、コロナによる足踏みを**“積極的に”待つ**こと、同時に新たな方策を模索することが重要。

3



本プランの新しいチャレンジ



チャレンジ1

学生との連携・協働による運動会を実現し
地域防災に学生の活躍の場を



チャレンジ2

防災運動会を学生参加の年間プログラムに
展開し住民の防災意識の向上を



チャレンジ3

運動会等の町内行事にチャレンジプランを
契機にふり返りと改善の視点を

活動のねらい

- **防災運動会への参加をとおした地域活動**

地域の指定避難所でもある教員養成大学の学生が、防災運動会へ参加をすることをとおして町内で災害に遭遇した際に必要となる防災に関する知識を身につけるとともに、地域防災の担い手として活躍できるための支援を行う。

- **学生の参画による地域住民の防災意識の向上**

従前の防災運動会の競技を見直し、新設の競技を学生と協働で開発・実践する活動をとおして、地域住民・学生双方の防災意識の向上を図る。

教師を目指す学生が、防災運動会への参加をとおして、将来、防災教育の指導者になるための知識・技能を身につけるとともに、教師として赴任した地域の住民と関わることを想定した、地域との交流体験をもつための支援を行う。

期待される成果

- **年間をととした防災教育プログラムの開発**

本年度まで単発のイベントとして学生参加者を募集し参加が低調であった町内防災運動会を、来年度は、年間をととして町内会の自主防災会との一層の連携をととした事前・事後の学習会や準備を含めた複数回の活動として改善することで、学生が地域防災活動で活躍できる機会を提供できる。将来的には、大学生向けの“町内発”の防災教育プログラム（大学のカリキュラムへの位置づけを含む）としての展開が見込まれる。

- **指定避難所の運営につながる知見や体験の獲得**

学生が防災運動会への参加に加えて年間をととした町内の活動に参加することにより、現状ではほとんど日常の交流がない町内会と大学との関係が改善されることで、指定避難所（大学）のスムーズな運営につながる人間関係の構築や知見を得ることが見込まれる。

活動スケジュール・当初案と修正案...コロナ禍での実践の省察

【防災教育年間プログラムのイメージ】

内閣府・防災教育チャレンジプラン 2020 における町内会・青年団が実施されました！
実践プラン(2020.4~2021.3)「地域の防災・減災に関する学生と連携した町内防災運動会」

since 1979
1GYS2020
井ヶ谷町内大運動会 第40回記念大会

**2020年度
参加学生
募集決定!**

日時：2020年10月18日(日)
9:00~15:00
場所：井ヶ谷グラウンド
(愛教大正門より徒歩5分)

Q: 下宿生ではありません。井ヶ谷町に住んでいない家ですが、参加できますか?
A: 井ヶ谷地域の大学である愛教大の学生の方には、下宿生・通学生を問わずでも、参加していただくことができます。

Q: 近所地域の運動会に愛教大の学生を募集するのですか?
A: 募集をめざす愛教大の学生の皆さんが、指定した学校がある地域で、町内の方々とも積極的にかわかることのできる形になるように協力をお願いもしたいと思います。



参加希望者説明会
& 愛教大生歓迎会
開催予定!!

2020年4月21日(火)
井ヶ谷市民館にて
後日、詳細発表☆

5-6月: 学習会②③
地域の防災・減災について学ぶ

10月: 防災運動会
学生参加者の募集
運営・実施をととした地域交流

2月: 活動のまとめ
報告資料の作成
活動の継続についての検討



4月: 学習会①
町内会による新入生歓迎会
井ヶ谷地域や住民に出会う

9月: 学習会④
運動会防災競技の新規開発

11月: 活動の振り返り
運動会の総括、反省

2019年度内に実践したこと

- 活動報告会のアドバイスを受けたプラン名の再検討、新プラン名(仮)決定
- 運動会中止パターンのプランづくり
- 大学担当部局への相談、打ち合わせ

6月中旬:
運動会中止が決定

10月中旬:
課外活動制限緩和

10月下旬:
実践活動本格始動

2020年度実践活動の成果 ①

- 交流相手である町内の教員養成大学の地域連携センター、保健体育講座の協力
- 大学の地域連携担当教職員、参加学生、井ヶ谷町内会役員、体育部による会合でビジョンの共有
- 2021年度町内防災運動会を、町内の井ヶ谷グラウンドから大学グラウンドに会場を変更し実施予定
- オンライン試行的導入（学生に町内の活動を紹介するホームページを試作）
- 運動会以外の活動でも連携の可能性...



町内防災運動会(昨年度)に参加して...体育部長(当時)との対談インタビュー

1

ああいうふう
に**地域の輪**が形成
されているのは
すごくいいなあ

2

地域の人と関わっ
ておけば**避難所**
でも手伝いを頼ま
れやすいですよ
ね!

3

運動会では話
ができなかった
ことも、反省会
でいろいろ喋れ
るかなあ

4

長期的に考える
なら4月に新入生
を歓迎会に誘うと
いうのもアリか
な?



町内防災運動会の競技を考えよう (1)

1

防災の要素を含みながら運動会で楽しく競技できる種目を考えたい。

2

子どもたちが興味を持ちそうなものは何だろう？

3

缶詰なら色々な種類があるから、こんなのもあるんだ！と興味を持ちそう。

4

避難所で食べたい缶詰を選べたら頑張って運ぼうって気になるんじゃない？



町内防災運動会の競技を考えよう (2)

1

実際の災害時に既に扱ったことのある道具があればきっと役立つね。



2

スコップなら、どこの避難所にも置いてありそうだね。



3

コロナ禍で外出ができない分、運動会で少しでも親子の思い出を作りたいな。



4

井ヶ谷の皆さんと防災知識×運動会を通して少しでも楽しめればと思っています！

2020-2021年度学生メンバー：

村川 直也 (代表・理科3年) ・白崎祐理子 (副代表・特別支援1年)
加藤 大輔・木下 景輔・鈴木 絢人・星野 楓香・森本 二以奈
山岸 暖野 (以上、保健体育3年)

指導： 愛知教育大学 保健体育講座 講師 縄田 亮太 先生

防災競技の開発(1)

旧競技「玉はこび」改善企画

※ 対象：小学生

[内容] スコップの上に非常食缶(少し重めのもの)を乗せ、ゴールまでの20mの距離をひとりで運ぶ。

[ねらい] 避難所でも使用するスコップの扱いに慣れることができる。非常食缶は景品として持ち帰って防災への備えを。



防災競技の開発(2)

旧競技「親子で合わせて」改善企画

※ 対象：未就学児と保護者

[内容] 子どもは防災頭巾をかぶり、風呂敷に防災グッズを乗せて、ゴールまでの20mを親子で運ぶ。

[ねらい] 使う機会が少なくなってきたが荷物も運べ非常時に止血にも使用できる風呂敷、その防災上の価値を体験する。





ご指導宜しくお願ひ致します
THANK YOU

愛知県刈谷市 井ヶ谷町内会 体育部

近藤 鉄郎 佐々木 由香 生嶋 亜樹子 樋江井 守 村川 直也
(愛知教育大学3年)